

| | | | | | | | |
|---|---|---|----------|----------------------------|----------------|----------|---|
| 事務事業 No./名称 | ■サービス部門 市民-18 農業振興運営事業 □支援部門 | | | | ザイムスコード及び個別事業名 | | |
| | 産業振興課 関連課 | | | | 349 | 農業振興運営事業 | |
| 主管課 | 産業振興課 | | | | 350 | 農業振興運営事業 | |
| 分野名 | 産業振興 | | | | 353 | 農業施設整備事業 | |
| 目標 (目標値) | 市民生活と密着した都市近郊農業の振興 鎌倉ブランド事業等による、農業従事者の生活安定と後継者の育成、環境と調和した農業の 推進 | | | | | | |
| 人口等の データ | データ区分 | 21年度 | 20年度 | 備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳) | | | |
| | 人口 | 176,669人 | 176,484人 | | | | |
| | 世帯数 | 78,131世帯 | 77,430世帯 | | | | |
| 運営資源 状況 | 決算値 | 11,566千円 | 11,218千円 | | | | |
| | (国・県) | | | 指標と評価 | | | |
| | (負担金等) | 1,738千円 | 1,366千円 | 指標 | 遊休農地解消面積 | | |
| | (一般財源) | 9,828千円 | 9,852千円 | 評価 | ◎ | | |
| | 人員配置数 | 1.5人 | 1.5人 | ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退 | | | |
| | 人件費 | 13,778千円 | 14,432千円 | | 目標値 | 実績値 | |
| | 協働の パートナー | JAさがみ鎌倉地区運営 委員会 | | | | | |
| 事務事業 運営経費 | 総事業費 | 25,344千円 | 25,650千円 | 20年度 | 2.9ha | 4.1ha | |
| | 市民1人当 りの経費 | 143円 | 145円 | 21年度 | 3.7ha | 3.5ha | |
| | 対象者1人 当りの経費 | | | 22年度 | 3.3ha | | |
| ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値) | 団体名 | | | 23年度 | 3.1ha | | |
| | | | | 最終年度 (年度) | 2.9ha | | |
| | | | | | | | |
| 創意・工 夫・課題等 改善状況 | 課題・問題 点 | (21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)H20年度耕作放棄地(遊休農地)解消対策の調査結果の事後処理。 (2)農業振興地域内の農道整備について、未整備箇所の整備の検討や市道部分の危険箇所などにつ いて関係課との調整。 (3)農業振興協議会での鎌倉の農業振興施策の具体的な行動計画の検討。 | | | | | |
| | 創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果 | (課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)H20年度耕作放棄地(遊休農地)解消対策の調査結果に基づき、所有者への意向調査の実施、その結果を農 業振興協議会で報告し、解消対策についての施策の検討を行った。 (2)農業振興地域内の農道整備は、市道部分の危険箇所1カ所について、関係課と調整の上整備を行った。 (3)農業振興協議会において鎌倉の農業振興について協議し、鎌倉の農業を知ってもらう方法、遊休農地を解消 し活用する対策を取りまとめた。 | | | | | |
| | 未解決の課 題・問題点 | (21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)H21年度耕作放棄地(遊休農地)解消対策の調査結果に対する対応の分析。 (2)農業振興地域内の農道整備について、未整備箇所の整備。 (3)新たな担い手の育成、販売販路の拡大。 | | | | | |
| | 今後の方針 (対応・改 善) | (上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)H21年度耕作放棄地(遊休農地)解消対策の調査結果に基づく土地所有者への意向調査を、農業委員会と協 力しながら行う。また、農業振興協議会報告書にある農地所有者に対する「JAとの相談体制」についての取り組 みを開始する。 (2)農業振興地域内の農道(市道)について、現地の状況確認を行い、修繕箇所の把握に努めるとともに、農業者 からの情報収集を行う。 (3)農業振興協議会の新たなテーマとして、新たな担い手の育成、販売販路の拡大について、検討・協議を行う。 | | | | | |
| 一次評価(課長評価) | | | | 二次評価(部長評価) | | | |
| A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了 | | | | | | | |
| 評価結果 | 改善の必要性 | 農業振興協議会で検討された鎌倉の 農業振興施策を着実に進め、農業 者、関連団体とも連携をとり農業振興 に努める。 | | | 評価結果 | 改善の必要性 | 都市農業の振興のため、限られた農 地を有効に活用するよう農業者、関 連団体との連携を図る。 |
| A | 無 | | | | A | 無 | |
| 課長名 | | 川村 裕伸 | | | 部名・部長名 | | 小磯 一彦 |